

豆まつりin小倉2025

(公財)日本豆類協会

令和7年10月18日(土)に、小倉井筒屋(北九州市)にて「豆まつりin小倉2025」が行われました。

豆類卸売業者の団体である全国穀物商協同組合連合会では、傘下の地区穀物商協同組合の取組として、豆のおいしさと健康性を一般消費者にお伝えして消費拡大につなげるためのさまざまなイベントを実施しています。

この「豆まつり」は山口・九州・沖縄地区をエリアとする西部穀物商協同組合(森光栄一理事長)の会員企業が毎年持ち回りで開催しているイベントで当協会も後援しており、今回は地元の株式会社久野商会(北九州市)が中心となり準備を進めてきました。

当日は、小袋豆、和菓子や豆料理の小冊子などを袋詰めしたプレゼント1,500セットが用意され、会場の小倉井筒屋8階催事場付近にて、会員企業から集まった有志十数名の手により来場者に配布されました。事前に井筒屋の催事チラシに豆まつり開催を掲載していたこともあり、午後1時の開始時点ですでに配布を待つ行列ができていて、豆類への関心の高さを窺わせるものでした。

この日催事場では井筒屋創業90周年記念として「あんことスイーツフェア」が初開催中ということで豆まつりとの親和性も高く、その催事に訪れたお客様や、同フロアのレストランを利用されたお客様が数多く豆まつり会場に立ち寄られました。週末ということもあり、ベビーカーを押しての家族連れやお友達同士、若いカップルやご年配のご夫婦など様々な年齢層の方々にプレゼントをお渡しすることが出来ました。そしてほとんどの方が喜んで受け取られ、中には「うれしい!」「豆大好きです!」「ありがとう!」など声をかけてくださる方もいらっしゃいました。

用意された1,500セットは1時間半ほどですべてなくなり、盛況のうちに配布は終了しました。



開始前の行列



配布の様子



プレゼント内容



西部穀物商協同組合の皆さん